

## 被災者向け「パパラビジョン」設置及び情報提供

H19.9.21

全国FM放送協議会（JFN）加盟局による被災者向け「パパラビジョン」設置の事例紹介。

平成16年10月24日 新潟県中越地震

FM新潟は、全国FM放送協議会（JFN）と被災自治体の協力を得て、FM文字多重放送サービス「パパラビジョン」を、被災した長岡市、川口町などの被災5市町の避難所計27か所に設置、災害対策本部に「パパラジューコム」5台設置し、文字データによる生活情報の提供をおこなった。

被災自治体の広報セクションがメールやFAXでFM東京へ情報を送り、FM東京で文字データを入力してFM新潟の電波を通し各避難所に設置してある「パパラビジョン」に生活情報の提供をおこなった。

<http://www2.jfn.co.jp/sien/index2.html#top>

平成19年7月16日 新潟県中越沖地震

FM新潟は、全国FM放送協議会（JFN）と被災自治体の協力を得て、FM文字多重放送サービス「パパラビジョン」を、被災した柏崎市、刈羽村の避難所計10か所に設置、文字データによる生活情報の提供をおこなった。

両自治体に申し入れ、希望避難所をリサーチ。

- ・ 柏崎市は震災直後、広報リリースを書式で配布しておらず、柏崎市のホームページにアップされた内容を確認して、データ入力した。設置避難所は、旧西山町の6カ所。
- ・ 刈羽村は、掲示希望内容はFAXで伝達してくれた。必要に応じてホームページを確認し、入力した

## 【内容例】

「20日臨時入浴施設開放 北条小学校」「ラピカ北側駐車場にお風呂を設置します」「食中毒が発生しやすくなります」「19日からは燃えるゴミに限り通常通りの収集となります」など柏崎市、刈羽村が提供している避難住民のための生活情報を流した。

### 【設置状況】



### 【画面】



「パパラビジョン」は全国FM放送協議会（JFN）加盟社においては1台位しか保有していない為、全国から集めても十分な台数が集まらない。  
交通手段が無くなると集める事も難しくなる。  
新潟県中越、中越沖地震で使用した「パパラビジョン」は現在製造をおこなっていない。